

銑後保健の道場南總勝浦

汽車發着時間表

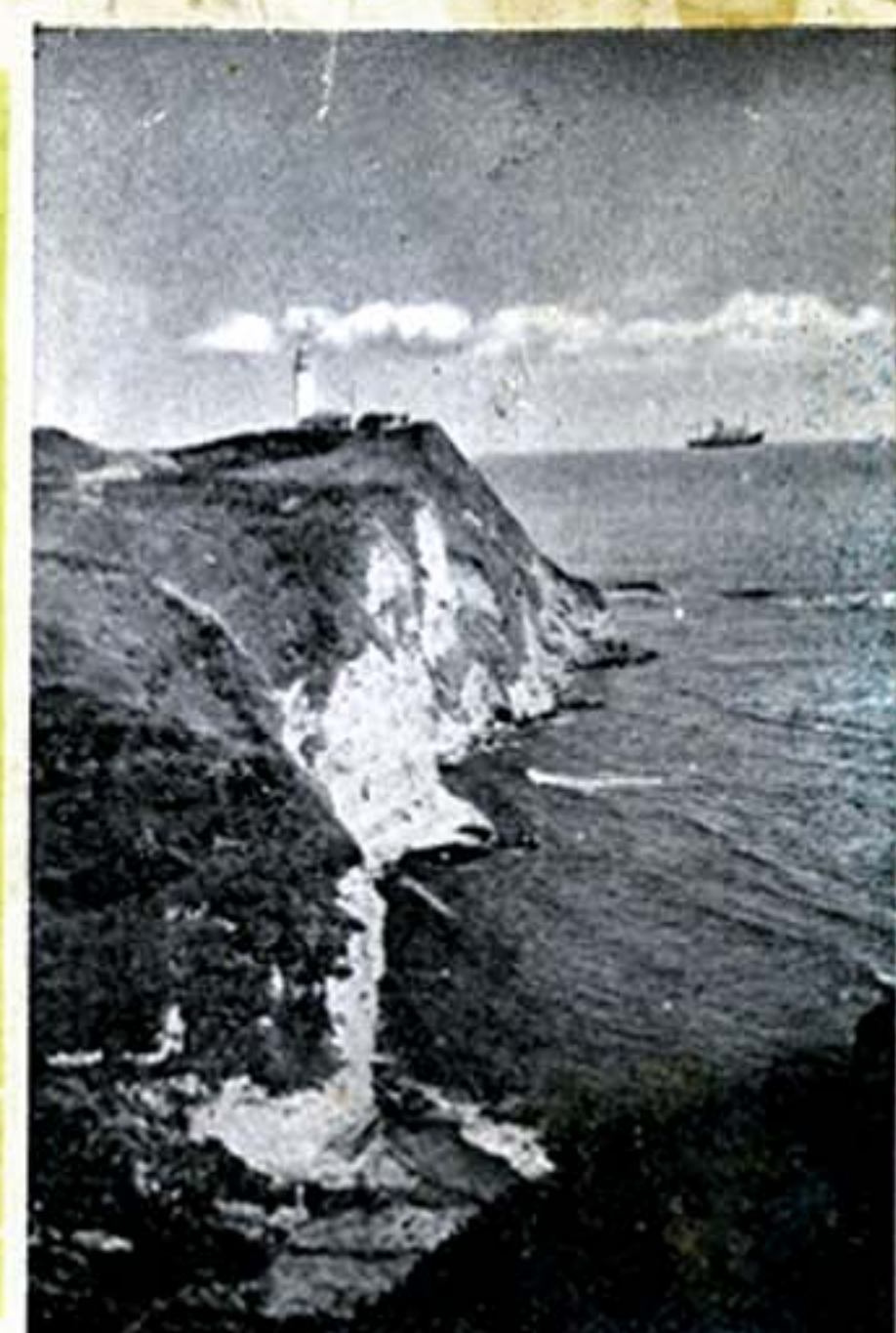
(七月一日後の時間表)

上
り

下
り

勝浦驛發		兩國驛着		兩國驛發		勝浦驛着	
前	五、〇七	前	八、一〇	前	六、三七	前	九、三八
	五、四八		八、四一	不定期	七、二四		一〇、〇六
	六、四九		九、四四	不定期	八、一五		一〇、五五
	八、五三		一一、四二		九、〇四		一一、五九
	一一、〇九	後	一、五八		一一、一六	後	二、一二
後	一、二二		四、一〇	後	一、三二		四、二五
	三、〇五		五、五八		三、三八		六、二八
不定期	三、三六		六、二八		五、二五		八、三一
不定期	四、二八		七、一七		七、三七		一〇、二八
	五、一六		八、一三		八、五七		一一、四六
	七、三六		一〇、三二				

◎ 不定期列車ハ驛ニ才問合セ下サイ



勝浦燈臺



勝浦町全景



高磯より無線電信望む



官軍塚



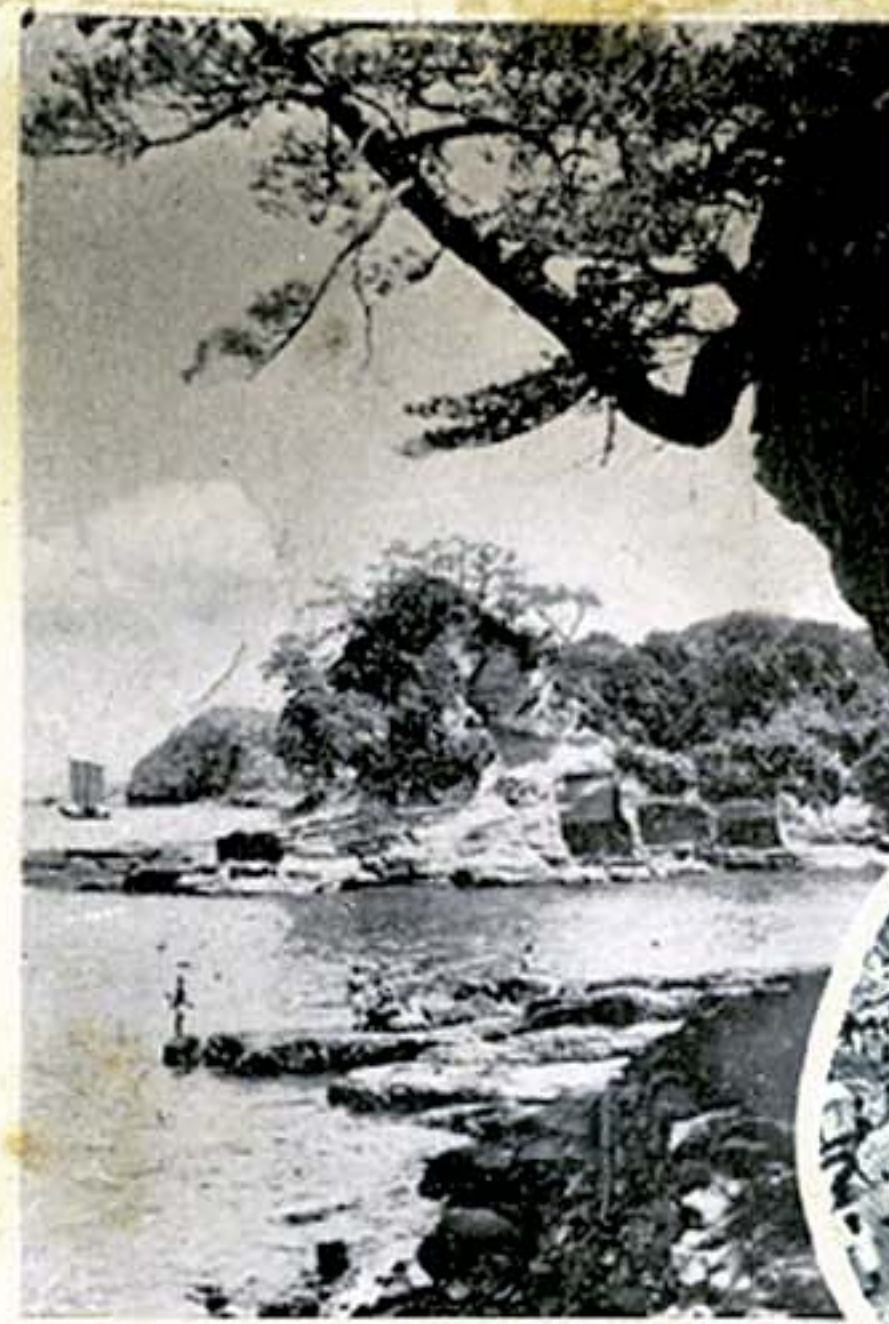
鳴海神社



水道貯水池



勝浦海水浴場



尾名浦の勝景

銃後國民の保健地

—南總の勝浦へ—

大洋の激波は豪壯な海洋美を誇り、三方は丘陵に囲まれ、常春の港町として外房第一の観光地が勝浦町であります。勝浦町は人口一萬五千餘を有し、冬は暖く正月頃には早や菜の花が咲き初め、春は潮干狩に、初夏は香りの高い百合咲き亂れ、鳴鹿の海に照る秋の月等、四季を通じての観光地にて、ドライブに、ハイキングに、磯遊びに、釣に、避暑遊樂に憧れの樂土として、觀光客は年と共に増加して居ります。

勝浦は遠浅で水清く波静、御婦人、お子様達に適する尤も安全な海水浴場であり、八幡岬と黒ヶ鼻とが勝浦灣を抱き、その灣形が新月形なるを以て、三日月灣、鳴鹿の海の名稱がありて扶木集にも弓張の月の宿れる底を見て

鳴鹿の海に海女の入るらん
と詠じましたのは勝浦灣の勝景を讃へたものであります。

觀光御案内

八幡岬

八幡岬は斷崖百二十尺、舊勝浦城跡にて、八幡神社を祀り、黒ヶ鼻に對し西南は遙に安房の忽戸の鼻に對し、南は渺茫たる太平洋に面し亞米利加大陸に三千哩この雄大な大洋風光も一時の内に收め得られます。

お萬布晒

八幡岬の東側に直下十數丈の峻崖があり、之れが後年徳川御三家の祖先生母たる正木左近太夫拜時の息女お萬の方が勝浦城陥落の際崖上の松の根方に白布を結付けそれを縫ひて斷崖を下り船に下りしと云ふ落城談話を物語る遺跡であります。

遠見岬神社

天宮命を祀り社殿宏壯、脚下に市街を見下し見時臺に立てば南は太平洋の雲煙に霞み西南は蜿蜒として續く外房の連峰を望み眺望絶佳であります。

勝浦燈臺

八幡岬の東端峻崖の斷崖上に屹立し、燭光二萬六千其の光芒は二十二哩に及び、最新式を以て誇り、沿海、海外航路船の航行を助けて居ります。附近に鳴海神社見時臺等がありハイキングの好適地で自動車道の便もあります。

官軍塚

勝浦燈臺より東へ五百米の地に、官營墳墓あり、戊辰の役に幕臣榎本武揚兩館に據つて王師に抗した際、官軍榎本藩主細川公之を討伐せんと兵員三百五十人を乗艦せしめ北上の途、偶々暗夜勝浦沖に於て暴風雨に遭ひ、暗礁に觸れ沈没し溺死者二百十人を算し、内百五體を埋葬せし爲めに官軍塚と呼び、蒼蒼した碑石は當時の面影を忍び、附近一帯は眺望絶佳にして、ハイキングにもまたよき地であります。

瀧口神社

日本武尊を祀り大字郡原にあり、景行天皇の御代東夷征伐の時此地に於て惡蛇あり、素朴なる村人を害するを尊聞き給ひて、惡蛇を切殺し賜ひしにより、古くは蛇原と稱したるも、後世に至り郡原と呼び、風光明媚の處として、カヌーの絶好の地とあります。

上水道水源

町の西方大字中濱地内の溪流にあり、水量は常に豊富、水質極めて良好、全町に給水し、同水源地帯は幽雅閑雅、綠翠濃やかして散策探勝に好適であります。

砂子の浦

灣の西南端黒ヶ鼻斷崖の中腹に安置せらるる砂子の浦觀音堂は灣を隔て、燈臺及市街と相對し朝夕の眺望は特に絶佳であります。

海水浴場

海水浴場は勝浦町觀光協會の直營にて、休憩所、更衣所、賣店、救護設備、臨海圖書館、運動具、餘興場其の他の設備も完備し、殊に數年前より上水道濾水場を設け浴客の便を計り大いに賞讃を博して居り、水泳講習會の設備もありなほ第二、第三、海水浴場共何れも劣らざる設備を致し、各海水浴場共遠淺にて波静、水清く少しの危険もなく安心して海水浴が出来ます。

交通

兩國驛より房總東廻り線にて車窓に田園風景を眺めつゝ二時間半にして勝浦驛に着き、徒歩五分にして風光明媚な海濱に至り、町には乗合、貸切の自動車の便があり、しかも廉價親切町寧にしてお求めに應じて居ります。

旅館

完全なる設備と收容力を以て、何れも大衆的にして、最善のサービスに努め殊に都人に珍らしき漁港の素朴な人情を織交ぜた接客振舞ひには、漁港の情緒を味ひ得るに充分であります。

宿泊料は一圓五十錢以上四圓迄團體は特に御相談に應じて便宜を計り、勝浦館、三日月、勝榮館、松の家、一文字屋、清水館、梅松、濱田屋、松美屋、小松館、押塚等の各旅館があります。

貸家貸間

組合に於て一々御世話致し、貸家、貸間共に、一夏一疊二圓より五圓位ひまで、安價に何れの御相談にも應じて居ります。

釣御案内

釣の勝浦は、暖流と寒流の交叉する處で、太平洋を控え天恵の釣場であります。鯛、黒鯛、あじ、とび、めじな、あいなめ、きす、ほら其他種々な魚が釣れ、好釣家を略せば、都座を避け一日の清遊には好適地であります。是非銀鱈躍る釣の勝浦へ！

物資供給

毎日早朝より、千代町の中央部に於て古くより有名な開市を期し、最も新鮮なる魚貝類、野菜類を廉價に販賣し、各自のお好に應じ、就中魚類は水揚げ額二百萬圓の大漁港であり、鮑、さざえ、伊勢海老の原産地であります。何れも本場だけに最も新鮮なものを安く手軽に求め得られることは漁港勝浦でなくでは味へぬことあります。

貸舟、約三十隻あり、船頭賃案内料五圓、但し小舟は船頭付二圓位定員三人程度

魚釣の季節

- 一、二、三月——鯛、ヒラメ
- 四月——タヒ、ヒラメ、イサギ、黒鯛、ハタ、メジ
- 五月——タヒ、ヒラメ、黒鯛、イサギ、メジ、カサゴ、イシナギ
- 七月——イシナギ、ヒラメ、キス
- 八月——アジ、キス、ヒラメ、イサギ
- 九月——タヒ、ヒラメ、アジ
- 十月——タヒ、ヒラメ、ハタ
- 十一月、十二月——タヒ、ヒラメ、ハタ

勝浦小唄

一、かたち三日月かつら港、中の平島波に鳥居は今日も浮く、エ、今日もうく二、上すかつら日毎の市で、あうたむすめの、籠の白百合忘らりよか、エ、忘らりよか
三、誰をまつむし八幡岬、月の蟲浦露のすきに蟲が鳴く、エ、蟲が鳴く四、乳のいてふにばら／＼時雨、音もさびしく落葉さびしく降りかゝる、エ、ふりかゝる

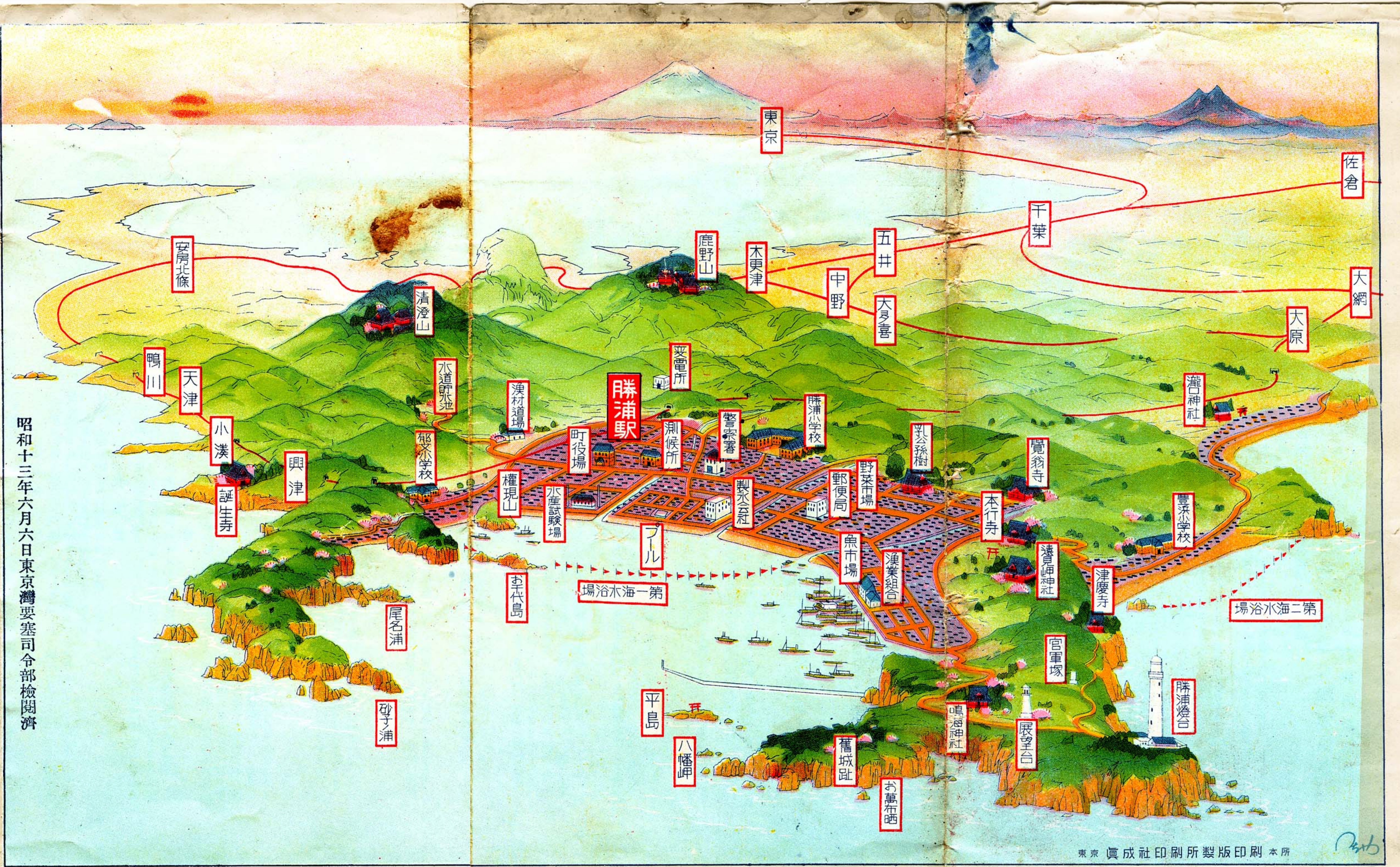
詳細は勝浦町觀光協會宛御問合せ下さい

千葉縣勝浦町觀光協會

電話 勝浦 四九番

勝浦 觀光

昭和十三年六月六日東京灣要塞司令部檢閱濟



東京 眞成社印刷所製版印刷 本所

勝浦町觀光協會
千葉縣

UNION POSTALE UNIVERSELLE.
CARTE POSTALE

きかは便郵



きかは便郵

CARTE POSTALE

ADRESS
TORII SHOTEN.
SHIBAKU, TOKYO, JAPAN.

MADE IN JAPAN



岸海津川濱豐（近附浦勝總南）



景眞の浦ヶ石（岸海浦勝總南）



△ 望 才 臺 壽 比 恵 リ ヲ 岸 海 浦 勝 總 南



南總勝浦名所 勝浦海水浴ノ眞景



尾名浦の景

(南總勝浦海岸岸)



朝市の景

(南總勝浦町)



南 總 勝 浦 町 市 街